

令和4年度「倫理」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通科・文系	公民	倫理	2	必修
教科書	高等学校 倫理 (東京書籍)				
副教材	テオリア 最新倫理資料集 新版二訂(第一学習社) 要点マスター倫理演習ノート(第一学習社)				

学習の目的

- 1 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づき、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づき、青年期における自己形成と人間としてのあり方生き方について思索を深める。
- 2 人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己を確立し、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

学習の目標

I 【習得】の段階 知識・技能	学習内容や知識を理解し、説明ができる。歴史的背景や現代の諸問題についても自ら説明できるようにする。
C 【活用】の段階 思考・判断・表現	先哲の思想やそれらが時代に与えた影響について、互いに議論を重ね、互いにこの議論の中で、現代の生活に活用できるように知識を高める。
E 【探究】の段階	二高ICEモデルを活用し、取り組み方・考え方・生き方について深めることができる。

つ け たい 力	みつめる力	課題発見力、豊かな感性、柔軟な想像力
	きわめる力	情報収集力、計画力、行動力、共同力
	つなげる力	協調力・共感力・コミュニケーション力・プレゼンテーション能力

評価方法

	I	C	E
◇ 定期考査。考査では知識問題と記述問題を出題する。	○	○	○
◇ 夏休み中の課題や各学期中のレポートなどの提出物の状況		○	○
◇ Google Classroom「課題」を活用し、「思考を貫く問い」の記述課題を出題する		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

◇ 授業時間以外にもChromebook (Google Classroom) を使って、事前課題や事後まとめを実施予定です。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	E: 学びに向かう力・人間性		
						I: 知識理解	C: 思考判断表現	
第1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 青年期の意義 ● 青年期の課題と生き方 ● 人間とは何か ● ギリシャの思想 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人生における青年期の位置づけや特徴を考える ● 青年期の課題について理解を深め、自己の幸福や生きがいについて考える ● 人間の定義を考え、先人の思想を学ぶ意義について理解する ● ギリシャ思想の特徴や自然哲学者、ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの思想について理解する 		<ul style="list-style-type: none"> ● 現代に生きる私たちが、良識ある公民としていかに在るべきか、いかに生きるべきか 	○	○	○
	5			○		○	○	
	6			○		○	○	
	7			○		○	○	
第2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ● キリスト教、イスラーム、仏教 ● 中国の思想 ● 日本人の精神風土 ● 仏教と日本人の思想形成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 古代ユダヤ教やキリスト教の成立や発展過程について、一神教や啓示宗教の特徴、イエスの言行、世界宗教としてのキリスト教の特徴を中心に理解する ● イスラームの成立や発展過程について、ユダヤ教・キリスト教との共通点や相違点、現代社会への影響を中心に理解する ● 仏教の成立や発展過程について、ウパニシャッド哲学、ジャイナ教、ブッダ、上座部・大乘仏教、ヒンドゥー教を中心にその特徴について理解する ● 中国思想の特徴や展開について、儒家思想・老荘思想を中心に理解する ● 日本の伝統的自然観、宗教観、倫理観について理解する ● 日本の古代・中世における宗教家や思想家の思想や実践の意義について理解する 	中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間としてのよりよい生き方とは ● 共同体や人間相互のつながりはどうあるべきか ● 生における不安や苦がいかにして生まれるか、またその苦はいかにして克服し得るか 	○	○	○
	10			○		○	○	
	11			○		○	○	
	12			○		○	○	
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 儒教と日本人の思想形成 ● 国学の思想 ● 庶民の思想 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の儒学者の思想や実践の意義について理解する ● 国学に関する思想家の思想や実践の意義について理解する ● 近世における町人や農民を代表する思想家、幕末の思想家の思想や実践の意義について理解する 	学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身の考えと古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方との共通点・相違点は何か ● 自分の考えに対する疑問や反論、それらに回答することができるか 	○	○	○
	2			○		○	○	
	3			○		○	○	

※行事等で変更になる場合があります。